

年間第十四主日

2016.7.3

ルカ 10: 1-9

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に関いなさい」。このように言われるイエスは、十二人の使徒たちのほかに、さらに七十二人の人を任命して、神の国の福音を宣伝するように送り出されます。このようにして、イエスは、父なる神から与えられたご自分の使命に協力するように、多くの人に呼び掛けておられるのです。イエスの目には、働き手がいくらでも足りないほどに、豊かな収穫の畑が広がっているのです。神の国の福音を告げ、人々をその神の国に招き入れる、父なる神がご自分にお与えになった収穫の働きのために、イエスは今日も協力者を求めておられるのです。

種は蒔かれ、芽を出し、茎は伸びて、穂は豊かに実っているのです。この全ては、いのちの源である父なる神の御業です。今願うべきことは、収穫のために働く人たちをより多く送ってくださるということ。 「収穫は多いが、働き手は少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に関いなさい」。このように言われるイエスの心のうちに燃えている熱気を感じ取りたいと思います。わたしたちも、イエスがそれに生涯を賭けられた働きに協力する者たちとなることが出来るよう心掛けたいと思います。

収穫の時を迎えた畑は目の前に広がっているのです。杖も袋も着替えも持たずに、身一つで出かければよいのです。後のことは収穫の主が用意してくださっているからです。

七月の第一日曜日、今日のみことばに励まされて、収穫のための働き手を願ってこのミサをささげて祈りましょう。わたしたちのカトリック神学院では、来年度の入学志願者受付の締め切りを迎えようとしています。今年練馬の神学院に入学した神学生は、全国の教区から二人だけでした。このような現状の中でも気を落とさずに、ますます収穫の主への信頼を深めて祈り続けたいと思います。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に関いなさい」。今日もこのように呼びかけておられるイエスの御ことばに結ばれて、わたしたちの心からの願いを込めてこのミサをおささげいたしましょう。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高